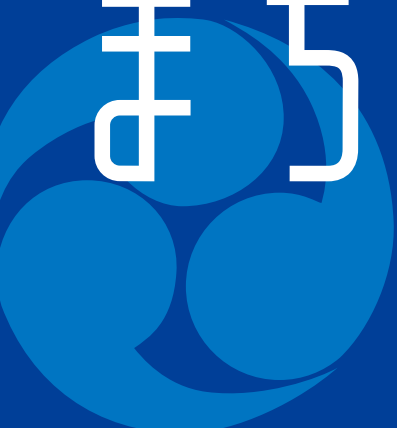




船場の まちなみ作法



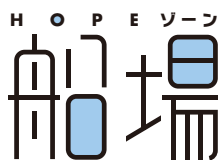
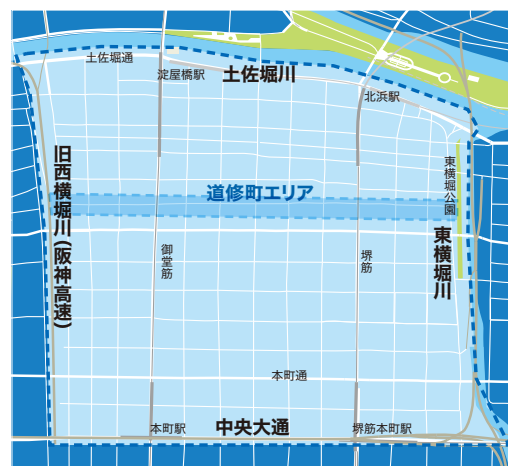
どしよまち
道修町編

道修町

元気なまちなみ

未来が見える

通・筋、エリア(界隈)ごとの
個性を活かすまちなみづくり



はじめに



この冊子は『船場のまちなみ作法～基本編～』に定める「まちなみづくりの基本方針-2. 通・筋、エリア(界限)の個性を活かす」に基づき、船場・道修町のまちなみづくりを考えるうえで共有したい思い(合言葉)や具体的なポイントとなる事項を提案するものです。これをヒントに、「近世・近代の佇まいが光る 花なりしたなまちなみづくり～上質な船場の'いま'を愉しむために～」につながる、船場・道修町ならではの「修景(まちなみづくり)」をみんなで考えていくことができれば・・・と思っています。



修景のポイント

其の考 道修町らしい佇まいを活かす

近世・近代の道修町を想わせる要素、道修町の歴史と伝統を感じさせる要素を'いま'のまちなみに活かし、未来へつないでいくことが大切です。

- そのため、
- ▶ 道修町のまちなみのアクセントとなっている伝統的な町家や戦前・戦後のモダンでかわいい建物は、今まで以上に大切に、磨きをかけましょう。
- ▶ まちなみの資源となっている建物周辺で新しく建物を建てたり、改修したりする場合は、資源そのものの見え方やまちなみとしての見え方に配慮しましょう。
- ▶ 建物や看板類の素材感や色合いなどは、道修町らしい、落ち着いたものを基本にしましょう。

其の式 敷地際の空間を上手く使いこなす

「通」沿いの空間を上手く活かすことにより、道修町ならではの賑わいや楽しさを創り出していくことが大切です。

- そのため、
- ▶ 船場建築線による建物後退部分や大規模な開発に伴う公開空地、背割り下水部分等の道修町の貴重なすきま空間はできるだけ開かれたものし、そうした空間と空間をつなげる等の工夫をしましょう。
- ▶ 駐車・駐輪スペースやゴミ置き場の配置やデザインには十分、配慮・工夫しましょう。
- ▶ のぼりや置き看板、隣地との段差など、歩きやすさや開放性を阻害しているものをできるだけ、整理・改善・撤去しましょう。

また、こうしたことに加え、「くすりの道修町」の個性を演出・発信していくことが大切です。

- そのため、
- ▶ 「通」に面したくすりのショーケース、老舗の伝統やまちの歴史がわかるオブジェや遺構・顕彰板等の設置などにより、道修町の個性と楽しいまちなみを発信・演出しましょう。
- ▶ 敷地際のオープンスペースの舗装やデザインは、まちなみの雰囲気合った素材、色合いを心がけ、通としての一体性やまちとしてのまとまりを演出しましょう。

「くすりの道修町」の個性を演出・発信する



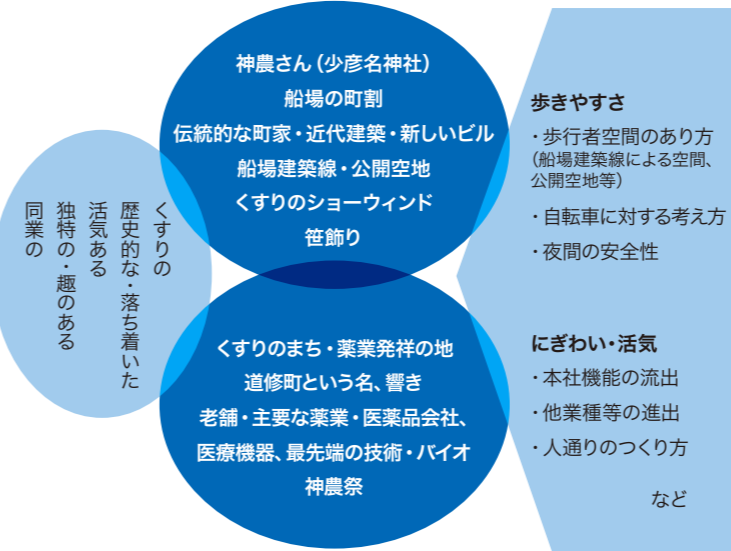
船場・道修町の「まちなみづくりの合言葉」

船場・道修町のまちなみづくりを進める上で、大事にしたい事柄やキーワードなどについて、アンケートや調査で、多くの方にご回答いただいたものを整理すると、主に次のようになりました。

こうしたことを踏まえ、道修町でのまちなみづくりを考えるときに、みんなで共有する思いを「まちなみづくりの合言葉」としてまとめました。

船場・道修町 まちなみづくりの合言葉

どしようまち 道修町 元気なまちなみ 未来がみえる



くすりの道修町・・・

- ▶ 江戸時代、くすりを扱う仲間たちが集い、結束して、大阪の、そして全国の人々の生命と健康を育き続けてきたまち
 - ▶ 神農さん、お祭り、風情ある町家、昔ながらの老舗企業・・・その長い営みの中で培われた伝統が生きるまち
 - ▶ 最先端技術、新しい分野、未来への挑戦・・・深く、ゆるぎない歴史に支えられ、しっかりと息づく新しい力を感じるまち
- そんな道修町の魅力を深く理解していくこととあわせてもっと、もっと、人を元気にするまちに、いつも未来を感じるまちにしていきたいという思いを込めた合言葉です。この合言葉のもと、一緒に、道修町のまちなみづくりを考え、進めていきませんか。

船場地区HOPEゾーン協議会 専門部会（道修町）

発足

平成20(2008)年8月25日に協議会内に設置された専門部会

目的

大阪市HOPEゾーン事業を活用し、行政等と連携・協働で、近代建築などの船場の文化的・歴史的な資産を活かした、より魅力的なまちなみづくりを進める「船場地区HOPEゾーン協議会」の活動の一環として、『道修町エリア』のまちなみを考えていくことを目的とする

主なメンバー

メンバー	別所俊顕	協議会事務局長、少彦名神社宮司、道修町資料保存会理事
	小西哲夫	協議会理事、コニシ(株)取締役
	吉岡 亨	協議会理事、大阪ガス(株)近畿圏部長

サポートメンバー	大橋達夫	協議会会長、集英連合振興町会 会長
	木下修二	協議会副会長、愛日連合振興町会 会長
	その他、道修町沿道のみなさま等	

船場・道修町での まちなみづくりを 進めるにあたって

船場地区HOPEゾーン協議会 専門部会(道修町)では、1人でも、1社でも、1店でも多くの方と一緒に道修町のまちなみづくりを考え、進めていきたいと考えています。

そのため、船場地区HOPEゾーン協議会は、大阪市と連携し、次のような形でお手伝いしていきます。

①相談システム等

この『作法』に沿って、道修町のまちなみづくりを考えたいけれど具体的な方法がわからない、検討中の計画がまちなみに合っているのか検証したいというような場合などに、専門家のアドバイスを受ける機会や具体的な修景事例からのノウハウなどを無料で提供します。また、それぞれの修景整備がまちなみとして調和した形につながっていくよう、お手伝いしていきます。

②PR活動、各種イベント、 ワークショップ等の開催など

『船場のまちなみ作法～道修町編～』の周知・広報とあわせて、道修町の魅力や修景事例の紹介・PRに努め、広く内外に船場・道修町の良さを発信していきます。また、個々の敷地・建物ごとに進めていただく道修町のまちなみづくりへの貢献を、「通」全体で支え、守り、発展させていくことができるよう、船場・道修町のみなさんに参加いただけるようなイベントやワークショップ、各種勉強会等を開催するなど、まちなみづくり活動を展開していきます。

『船場のまちなみ作法』や船場でのまちなみづくり、
船場地区HOPEゾーン協議会の活動に関わるお問合せ、ご相談等は
お近くの協議会役員まで。

大阪市の「HOPEゾーン事業(船場地区)」についてのお問合せは

大阪市都市整備局
企画部まちづくり事業企画担当 まで
電話 06-6208-9222
大阪市北区中之島1-3-20 大阪市役所6階

HOPEゾーン事業

大阪のイメージ・魅力を高める歴史的・文化的な雰囲気恵まれた地域において、地域で活躍する様々なメンバーから成る「協議会」を中心に、地域と行政が連携・協働してまちなみづくりに関わる活動を展開しながら、地域特性を活かした建物やオープンスペースの修景整備等、具体的なまちなみづくりに取り組んでいく事業。

平成21年8月発行
発行者 船場地区HOPEゾーン協議会
企画・編集 船場地区HOPEゾーン協議会・大阪市都市整備局
制作協力 (株)ダン計画研究所